

# 港北区災害ボランティア連絡会ニュース



事務局 〒222-0032 横浜市港北区大豆戸 13-1 吉田ビル 206 港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX045-531-9561

96号

FB 港北区災害ボランティア連絡会

2021年9月



\* 入会は随時受け付けています。あなたの町の防災度を高めるためにお力を貸してください

## 避難を決心させる町内会長の「魔法」の呼びかけ!?

災害の危険性が高まっているにもかかわらず、避難行動に踏み切らない人はとても多いのですが、その原因の一つに「自分なんか死んでもかまわない」とする投げやりな気持ちがあります。高齢の方に多く見受けられますが、そこには普段の生活のあり方が反映されています。人付き合いが少なく、身体的に動くのもしんどくなってくると、ついこのような気持ちになってしまうのでしょう。

次の文章はシルバーリハビリ講座に出席した町内会長さんの言葉ですが、年齢が近い人からの言葉で言われると胸に入りやすくなるのではないかと思います。しかも熱海伊豆山の土石流災害の直後でしたから、参加者も聞く耳を持ちやすかったかもしれません。大所高所からの呼びかけではなく、心に届く言葉を投げかけられる人間関係があれば人を助けられることに気づかされます。ボランティア活動は、その大きな力を持っていると思われまます。知り合いの西伊豆町社協職員の藪田栄和さんの Facebook から拝借しました。 (宇田川)

熱中症の話をしたときに、いま熱海で起きていることを少し話をさせてもらって、高齢者の熱中症予防のための水分補給は、とても大事なことということをお伝えした後で、町内会長からお話し。

「この間の雨のときに、公民館を避難所として開放するから心配な人は早めに避難してくれて、放送を流したが覚えてるけ？そのとき、”わたしゃ、いごかんないんて、ええ、ここで死ぬから”っていう言葉をたくさん聞いた。死んだ人はわからないからそれでもいいけど、TV 見てわかるら？

被災地に 1700 人以上の自衛隊・消防・警察が人命救助で動いている。いつまた土砂が崩れてくるかわからない危険な環境の中で。死んでもいいって言って、残った高齢者を探すために誰かが犠牲になることがどれだけ悲惨な事かわかる？

みんな大事な家族がいるがだから。行方不明になった家族を心配する家族の苦しみがわかるかい？

ええけ、みんな。状況によっては、ここが一番安全だってわけじゃないがだから、放送でどこへ逃げるだよって声がかかったら、みんなで逃げるだよ。100 歳だって逃げるだよ！！そのために、いまからシルリハ体操して逃げられる体力づくりしよう！！」

すごいカッコいい町内会長だ。さすが元消防。

今度、社協で、この地区で懇談会を進めていく。

どんな方法があるかわからないけど、このおばあちゃんちを、助けられる方法をみんなで作りたいな。

## ハンディを持っている人が困っていることを知ろう(第3回)

### 聴覚障害が会議で困ること

耳が不自由な方々の困り事の中で一番多く話題に上がるのは会話(コミュニケーション)です。

耳が聞こえない方と健常者の通常の会話方法は、1対1であれば手話、口話、筆談、チャットなどで何とかできるのですが、多数の方が参加する会議(例:グループミーティングなど)だと耳が不自由な方は何を話しているのかわからず、その会議そのものについていけなくなります。情報保障への理解が高い方々や職場では、チャットやメールなどを駆使して会議内容を教えてくださっているところが多いようですが、これで100%会議内容がわかるかというそうではないです(タイピング\*注1のスピードと会話のスピードが違うので、状況次第で会話内容をタイピングできないなど、様々な課題があります)。

最近の傾向は、在宅勤務が広まりZoomやTeamsなどを使ったオンライン会議が増え、チャットなどによる情報保障が難しくなっており、オンライン会議時にAIを使った音声文字変換アプリ(例:UDトークなど)など使うことが増えているようですが、これらのツールを使っても誤変換が多いために会議内容を理解できないことが多いです。

会話は人と人を結ぶ大切なものですが、耳の不自由な方々は、健常者の方々とコミュニケーションに非常に苦労していることをご理解いただければと思います。

### 避難所で困ること

熱海の土石流や梅雨の大雨による河川の氾濫など、個人的に昔より自然災害が増えていると思うようになりました。

もし自宅付近で災害が発生して自身が避難所に避難した場合、避難所での困りごとを想定してみました(経験がないためあくまでも予想です)が、以下の通りです。

- ・アナウンスが聞こえないために、食料や水の配給を受けられない。
- ・周囲の会話がわからないので、孤独になりやすい(コミュニケーションと情報にバリアを抱えやすい)。
- ・避難所の緊急移転(実際にあるのか不明ですが)時に、情報伝達が遅いために避難、移転行動が遅くなる。

当協会\*注2でも様々な情報や災害時の安否問い合わせなどを会員へメールやFAXで実施しておりますが、耳の不自由な方々の場合の災害時の対応については、様々なサイトで情報が掲載されております。

今回は、当協会の上位団体である一般財団法人 全日本ろうあ連盟の災害サイトをご紹介します。

このサイトにいくつかの災害救援関連資料(パンフレットなど)がありますので、ぜひご覧ください。

<https://www.jfd.or.jp/saigai> (近藤)

(注1) タイピング: パソコンなどでキーボードから文字などを打ち込む作業のこと

(注2) 当協会: 港北区聴覚障害者協会

「みんな大変なんだから」は禁句

災害時の情報提供はすべての人にとって最重要課題ですが、視覚や聴覚が不自由だと大変な困難を強いられます。過去の災害では避難所でいつ情報が流されるのか分からず、気を付け続けて、疲れ果てたとの報告もあります。

運営側が情報更新の時間を決めたり、どんな人が避難しているかを確認する努力は必須です。すべての人を救う避難所運営が求められます。 (宇田川)

## ～シリーズ災害食～ 災害時の離乳食問題

2018年7月豪雨災害時に広島県呉市(参考資料:農林水産省 HP 参照)では、発災から一週間程度は、水、包装米飯、カップ麺などを中心に配られました。粉ミルクは配られませんでした。そんな中、離乳食が配られるとは、到底思えません。水やガス等が使えない中、離乳食を作るのは至難の業です。そこで、今回お勧めしたいのは市販の離乳食です。和光堂の離乳食はカップに入っていてスプーンまで付いています。

キューピーは入れ物がおもちゃになります。離乳食が必要な時期は1年足らずなので、ローリングストック法を活用し、少し多めに購入しておいてはどうでしょうか。

育児中は忙しく、防災のことまで頭が回らないかもしれません。この記事が乳児のいるご家庭の方に届き、少しでも参考になれば幸いです。(杉浦)

<参照資料>

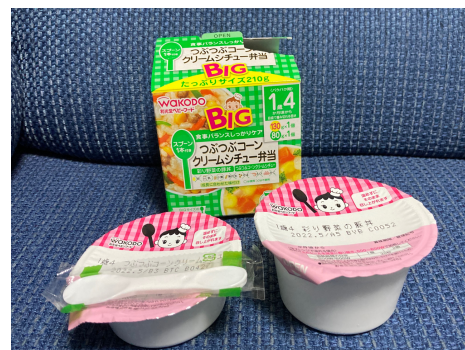
○和光堂:

[https://www.wakodo.co.jp/product/special/babyfood/babyfood/marche/ser\\_marche.html](https://www.wakodo.co.jp/product/special/babyfood/babyfood/marche/ser_marche.html)

○キューピー:[https://www.kewpie.co.jp/babyfood/products/nikoniko/over\\_01.html](https://www.kewpie.co.jp/babyfood/products/nikoniko/over_01.html)

○農林水産省「食料の家庭備蓄をめぐむる状況」(2018年12月26日)

URL: <https://www.maff.go.jp/j/study/bitiku/01/attach/pdf/index-6.pdf>



## まんまーる日吉の避難訓練

「グループ 預かりまんまーる日吉(通称:まんまーる)」は「子育て支援スペース COCO ひよし」で、週に3回、入園前の2歳～3歳のお子さんを少人数で預かり、COCOひよしに遊びに来る地域の親子やボランティアさんたちを交えてさまざまな人たちと関わりながら過ごしています。

1ヶ月に1回、火災や地震を想定して避難訓練を行っています。「あ、揺れているよ、地震だよ」と声をかけ、子どもたちと一緒に集まり頭をかかえて「ダンゴムシポーズ」を取るほか、防災頭巾を被る体験もします。被れる子どももいれば、嫌がる子もいますが、頭にのせるだけでも練習になります。

まんまーる日吉の子ども達と COCO ひよしに遊びに来てる親子の方たちと一緒に訓練

することで、少しずつ「防災・減災」に慣れて行くことが大切だと思っています。



小さな子どもでも簡単  
「まんまーる」いい  
ダンゴムシのポーズ

近くに頭を守るものがない時は、このポーズで身をまもろう。



(まんまーる日吉スタッフ米満)

## 災害・事故と保険

災害と災害ともいえる事故における保険の話です。

### ○熱海の土石流

建物や家財の損害については、水災担保の火災保険であれば保険金支払いの対象となります。ほとんどの契約が「水災担保」となっていると思われませんが、契約によっては保険料の削減のために補償が「火災・落雷・破裂爆発・風災」のみとなっていることもあります。特に、住宅ローンの借り入れと同時に金融機関で保険の契約をされたケースでは、補償が「火災・落雷・破裂爆発・風災」のみとなっていることが多くあります。

怪我や死亡については、通常の傷害保険や生命保険で補償の対象となります。ただし、傷害保険や生命保険では、通院・入院が補償の対象とならない契約も多くありますので、ご注意ください。

### ○飲酒運転による交通事故

飲酒(または酒気帯び)による痛ましい交通事故がありました。明らかに法令違反ですが、被害者の方については、自賠責保険・任意保険での補償対象となり、賠償金の支払いはされます。事故を起こした車両自体の損害や、運転手の怪我については補償の対象外です。

### ○地盤崩壊による建物の倒壊

大阪で発生した、地盤崩壊による建物の倒壊については、「明らかに大雨による水害が原因」とならない限り、対象となる保険はありません。造成した業者の「瑕疵担保責任」についても造成後 10 年が限度ですし、瑕疵の立証が必要となりますので、事実上、責任を問うのは不可能だと思います。自宅の再建費用だけでなく、倒壊家屋の撤去費用や崩壊した土地の修復・2 次災害防止費用まで所有者の方の責任となります。もちろん、ローンも引き続き返済が必要です。経済的に非常なご負担になると思われます。(中島)

今年からタスクにしています

## 被災地の経済を支える活動

港北区災害ボランティア連絡会では、地域イベントでの物品販売等を通して、被災地とつながりを持つ活動をしてきましたが、コロナ下では機会そのものが失われました。

私は、東日本大震災のボランティア活動を通して、縁もゆかりもなかった「東北」(特に陸前高田市)という場所やそこで暮らす人、美味しい食べ物など、多くのことに出会え、この「つながり」こそが、離れていても、直接会えなくても、そこで起こることを「自分ごと」としてとらえられると思っています。今後も「つながり」を持てるように、例えば、港北区の商店等と協力をして被災地の物品販売を行ったり、オンラインを使って直接被災地の方と話せる機会を持ったりしていきたいです。今年からタスクに加わったばかりの「被災地支援」。「こんなことをやってみたら? やってみたい」というアイデアやご意見がありましたらぜひお寄せ下さい!

(山口)

=====

### 【編集後記】

- 🔍 加入している保険の補償内容、たまには見返す必要があります(岩撫)
- 🔍 防災の日。身の回りの点検の日です。人様の介助が難しい年齢になってきました。出来る事をしましょう。(付岡)
- 🔍 以前、研修で学んだ避難の三原則 ①想定にとられるな ②最善を尽くせ ③率先避難者たれ 防災の日に再確認したいと思います。(鴨下)
- 🔍 UDトークは誤変換も多いけど、そこそこ使えます。無料なのでお試し下さい。(室伏)
- 🔍 ニュースのレイアウトを少し変えてみています。ご感想をお寄せください。原稿も随時、募集中です。(中島)